

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 行田市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和8年3月25日（水） 開会：午後2時 ・ 閉会：午後3時30分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2階 2A会議室
出席者（委員） 氏 名	増田 勝弘・萩原 実・羽賀 烈・新矢 理恵・柿沼 俊充・ 滝澤 布沙・長谷川 盛雄・今村 武蔵・高橋 榮美 9名
欠席者（委員） 氏 名	飯岡 洋一・竹内 政行・岡島 伸行・島田 ユミ子・松本 秀夫
事 務 局	長島生涯学習部長・松田生涯学習部次長（図書館長）・ 鈴木生涯学習部次長（郷土博物館長）・近藤生涯学習課長・ 伊藤スポーツ振興課長・岡田生涯学習部副参事（スポーツ振興課）・ 酒井文化財保護課長・蓮沼中央公民館長・担当 増地 9名
会 議 内 容	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 令和7年度社会教育行政施策の報告について 4 その他 ・社会教育委員会議から選出している各種委員等について ・埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会の今後について ・行田市教育委員会【公式】noteの開設について 5 閉 会
会 議 資 料	1 令和7年度社会教育行政施策の報告について 2 社会教育委員会議から選出している各種委員等について 3 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会の今後について 4 行田市教育委員会【公式】noteの開設について
その他必要事項	

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
	市民憲章唱和 1 開 会 事務局 2 あいさつ 生涯学習部長 3 議 事 高橋副議長 令和7年度社会教育行政施策の報告について 令和7年度 生涯学習部事業について、各課所館長が報告。 ①近藤生涯学習課長 ②伊藤スポーツ振興主幹 ③酒井文化財保護主査 ④蓮沼中央公民館長 ⑤松田図書館長 ⑥鈴木郷土博物館長 の順で説明。 <質 疑 等> 生涯学習課の事業は、かなり幅が広いわけであるが、毎年実施した事業の反省や評価を次の年の事業に活かしているように思えない。 時代も変わってきているので新しいことを考えていく必要があると考える。 放課後子ども教室の事業については、私もずっと関わっているが、学校教育部の方で所管している「学校応援団」との連携も必要ではないかと思う。 放課後子ども教室も、各学校のスタッフが少なくなってきていると聞いている。学校応援団、地域の方々にももう少し参加してもらえるよう工夫が必要だと考える。 反省・評価や、それを踏まえた取り組み、そしてその結果などがないと報告としては物足りない。 時代の変化に応じて、事業の方も少しずつ変えていった方がいいんじゃないかということで、評価を活かし、マンネリ化しないようにというご意見でした。どうでしょうか。 事務局 今村委員のご指摘、真摯に受けとめさせていただきたい。もちろん全く同じ内容で行っているということではなく、実行委員会などで反省点を活かしながら少しずつ事業の改善を行っている。それが見えにくい、物足りない部分があるということは真摯に受けとめ、今後も工夫してまいりたい。 今村委員 私は、2004年から「ふるさと創生クラブ」を立ち上げ、地域の高齢者を中心に、小学校の児童へ様々な支援を実施している。 結果、文部科学大臣賞や県知事賞をいただくなど、高い評価をいただいているにもかかわらず、教育委員会から1回も視察にも来ない。地域の取り組みにもっと関心をもって、他の学校・地域へ情報提供やPRをするなどの姿勢を見

高橋副議長	せてほしい。 私も現役中、今村委員が「ふるさと創生クラブ」を立ち上げられ、子ども達のために様々な取り組みをされていたことにとても感心していた。現校長より、今も継続されていると聞いている。 こういった取り組みを他の地域の人にも知ってほしいし、教育委員会の方もぜひ視察してほしいと思う。
増田委員 事務局	全体的な話だが、写真の掲載については許可を得ているのかどうか。 会議資料に掲載する写真に関して、原則、個人の特定しづらいものを選定するようにしている。また、ホームページ等で広く公開するようなものに関しては、モザイク加工なども含めて注意深く行っている。
増田委員	うちの学校ではホームページ等での写真の掲載について、年度当初に保護者の方に学校で撮影した写真の扱いをお知らせし、支障がある場合には申し出ていただくよう周知している。今のところ特段意見をいただくことなく、写真を掲載させてもらっているが、ここで撮った写真をこういうふうに取り扱うというようなPRを一言入れるよう学校でも心がけているので何かの参考にしていただければと思う。
事務局	先ほど説明が不足していたが、イベントによって参加申込時または開会式等で断りをいれて撮影、公開させていただいているものもある。 改めて徹底してまいりたいと思う。
高橋副議長	それでは、次にスポーツレクリエーションの振興についてご質疑・意見はどうか。
竹内委員	2点お伺いする。 スポーツ指導者研修会の実施について、救急救命講習の参加者が年々少なくなっているのを残念に思う。5年ほど前は、40名程度参加者がいたと思う。熱中症対策講習も今回40名と、だいぶ参加人数が少ない。命に関わることなので、なるべく参加者が多くなるようにしていただきたいと思う。
事務局	もう1点、スポーツ施設の整備に要した費用について、資料記載のものを合計すると4億7000万円程度であるが、これは全部市の支出になるのか。 1点目の指導者研修については、市スポーツ協会に加盟している各地区のスポーツ協会、スポーツ少年団そして各競技団体に周知し、参加者の募集をしている。過去に受講したということで申込みを控えている方もいると思うので、来年度から、再受講についても勧奨していきたいと考える。 2点目、工事費について、例えば総合体育館のメインアリーナ・サブアリーナ空調設備設置などの緊急防災に関する市債等というのは、70%が地方交付税として措置される。このため、実質的な市の持ち出しは30%分となっている。 これに限らず他の施策においても、様々な補助金や市債などを活用して市の持ち出しが少なく済む方法を考えている。

今村委員	「日本遺産魅力満喫ウォーキング」について、市内でのウォーキングという、前回会議での提案を取り入れていただき、ありがたく思う。 参加者が少なかったのは寂しく思うが、私も所属している「みどりのぎょうだネットワーク」で、行田の自然を見ながら歩くというイベントを4月に計画している。また、日本遺産ウォーキングは他の団体でも企画している可能性がある。そういった団体の企画とジョイントしてやった方がより効果が出ると思う。
事務局	今回、文化財保護課や健康課と庁内横断的に実施した事業であるが、民間・団体等との共同開催なども視野に入れ、事業を考えていきたいと思う。
羽賀委員	先ほどの救命講習に参加した人たちの平均年齢は。
事務局	若い人から高齢の方まで幅広く、また男性も女性もどちらも参加していた。
羽賀委員	もう1点。 施設予約システムの有効活用について。いざ予約をしようと思ったときに埋まってしまっていることが多い。連盟の方などに1年分取られてしまうと、単発での予約などが難しい。もう少し一般団体も予約を取れるようにならないか。
事務局	連盟等が1年前に予約できるのは、基本的には大会のみで、通常の活動は4ヶ月前に抽選申込をしてもらっている。現状は、抽選申込の日程を確認して手続きしていただくことになる。
高橋副議長	スポーツについて他に質疑がなければ、私から市民体育祭・地区体育祭について皆さんに伺いたい。自分の地区(須加地区)では、少子高齢化で選手が集まらない。皆さんの地区ではどうか。 また市民体育祭は地区対抗ではなくレクリエーション的な運動の場にならないか。
増田委員	以前は1日だったものが、半日に変わっている。
今村委員	芋煮会など地区で盛り上がっている行事と一緒にやったり、また、競技ではなくレクリエーション的なものに変えていく必要もあると思う。
柿沼委員	やはり人数が集まらず、単独では参加できないという人が多い。
竹内委員	自治会が9つあるところ、4つのブロックに組んで実施している。 やはり競技として、順位を決めるというのも、なくてはならないものではないかと思う。
事務局	市民体育祭について、地区体制も含め様々な意見があるのは重々承知している。スポーツを通して地域交流を図っていくというのが、市民体育祭・地区体育祭の目的で、実際、地区体育祭に訪問すると、参加している方が盛り上がっているのが見受けられる。 市民体育祭の方も、半分以上がオープン競技で、怪我の危険が高い競技の見直しも行っている。

高橋副議長 滝澤委員	また、地区体育祭に関して、地区によっては、体力測定会などに内容を変更して地域交流を図っている。スポーツ振興課に相談いただければ、このような事例紹介と共に一緒に考えさせていただく。 それでは、次に文化財保護課の施策についてご質疑・意見はどうか。 先ほど綿の栽培の話があったが、これは新しい取り組みか。 あちこちで栽培して、収穫して、糸車などで紡いだり、織物をつくったり。工芸協会としても、そういうことを行田市内でできたら良いと思う。
事務局	綿の栽培は、昨年度試験的に採用し、今年度本格的に小中学校における学習のために取り入れた。栽培の様子から、どのように足袋づくりへ繋がるかという学習である。 足袋以外でも様々に拡大し、日本遺産を踏まえた中で幅広く、別の形のものも取り入れていきたいと思う。
竹内委員	行田市の開発が進まない理由が、大きく分けると二つあると思う。一つは、豊富な埋蔵文化財があり、文化財に当たると様々な開発ができないということ。二つ目は農地転用が困難ということ。先行試掘調査というのは、大型施設に限らず、小さい企業さんの誘致も想定されているものと考えてよろしいか。
事務局	遺跡がある場所は、市内に約 60 ヶ所あるが、どの程度広がっているか、どんなものが埋まってるか、正直全てわかってるわけではない。 埋蔵文化財が企業進出の足かせにならないよう、遺跡を壊さないで建物が建てられるか、遺跡がある場所に建物や駐車場を作る場合にどうしたらいいか事前把握し、企業に各種提案をできるよう実施しているもの。
竹内委員 事務局	先行試掘の面積、予算は年間どの程度か。 基本的に先行試掘の場所は、企業誘致課からの依頼により決定される。今年度は 6 ヶ所で、費用は 200 万円程度。昨年度が約 20 件で費用が 500 万円程度であった。
高橋副議長	次に、公民館、図書館それから郷土博物館事業について、何かご質問、ご意見はあるか。
今村委員 事務局	公民館の現在の職員数は。 中央公民館は正規職員 6 名、夜間の臨時会計年度任用職員が 4 名。地域公民館は 16 館合計で会計年度任用職員が 73 名である。
今村委員	現在行田市では、学校再編が大きなテーマになっている。学校が無くなることは、やむを得ないことなのだろうと思っているが、そうになると今後はさらに、地域公民館に地域コミュニティの中心としての役割が求められる。 地域公民館の予算と人員の増強をして、権限をもう少し与えて欲しいと思う。 公民館は、子どもから高齢者まで一括して対象になるが、現状、子どもたちの利用が少ない。

竹内委員	今年、青少年育成会が持田公民館で夏祭りを企画したところ西小学校児童の半分、200 名以上が参加し、保護者も含めて大変賑わった。 地域公民館が高齢者のカルチャーセンター化しているような状況なので、少し子ども向けの企画を増やし、子どもと保護者そして地域の高齢者が一緒に活動できれば、地域のコミュニティは変わってくると思う。 忍・行田公民館の駐車場について伺う。100 台分の駐車場スペースが、平日でも 6 割ほど埋まっていることがあるが、公民館の中に人がいない。駐車場は誰が使っているか把握してるか。
事務局	駐車場は、公園の駐車場として整備されたもので、一部を公民館として使わせてもらってる。駐車場の利用は、公園利用者が多いと考えている。
竹内委員	毎日そこに車を停めて、そこからバスに乗っている人がいると聞いたので伺った。
事務局	もう一点、郷土博物館にカフェを造ることはできないか。需要はあると思う。 貴重な資料を展示・保管しており、それらの保存環境の悪化が考えられるため、現状そのような飲食スペースを作るのは難しいと考える。土日や連休中などにキッチンカーが出ているので、それらをご利用いただきたいと思う。
	4 その他 ・社会教育委員会議から選出している各種委員等について 資料を参考に社会教育委員の立場で各団体の会議等で協力賜りたい旨の説明。 ・埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会の今後について 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会が解散の方針で動いていることを説明。 ・行田市教育委員会【公式】note の開設について 行田市教育委員会【公式】note の運用が始まっており、教育委員会各所属が施策・催しについて発信していく旨を告知。
	5 閉 会 高橋副議長